

KEEP 20 TEETH TILL YOUR 80



ハジマルニイマル
8020運動

80歳で20本以上の自分の歯を保ちましょう

廣歯連盟ニュース

HIROSHIRENMEI NEWS

平成24年9月20日

第152号

発行所 広島県歯科医師連盟
広島市中区富士見町11-6
エソール広島820 TEL(082)241-8020
ホームページ http://hpdpf.jp
編集兼発行人 柘田博昭

次期参議院選挙及び 衆議院選挙は自民党支援で決定

第59回県歯連盟評議員会

平成24年8月4日(土)午後4時ANAクラウンプラザホテル広島3階「アカシア」に於いて、第59回広島県歯科医師連盟評議員会が開催され、議事事項・協議事項について説明協議し、了承された。



挨拶する山科透会長

- 第1号議案 平成23年度度広島県歯科医師連盟並びに自民党広島県歯科医師支部、石井みどり広島県後援会、西村まさみ広島県後援会、各事業会計収支決算について
- 第2号議案 公職選挙候補者の推薦について
- 第3号議案 広島県歯科医師連盟関連規約の一部

氏名点呼の後、土江健也副会長の開会の辞に始まり、評議員47名中45名という過半数の出席により、会議宣言があった。議事録署名者は慣例により議長一任となり、山本智之評議員(広島市)、井上眞吾評議員(府中)が指名された。

続いて、山科透会長より「本日連盟評議員会へお集りくださりありがとうございます。我々はこの医療がしたいかというところを明確に政治家に示さないと政治家もよくわからない。ですから、政策決定するうえで連盟において政策協議をしていかなければならないと思うので、ご審議賜りたいと思います。次期参議院選挙でも本県から推薦

- (1) 一般会務報告
- (2) 会計現況報告
- (3) 中央情勢報告
- (4) その他

次期参議院選挙に入り、山科透会長より「本県から推薦されるべき候補者を推していきたい」という趣意を述べ、山科透会長は「第一区は岸田先生を推していきたい。できれば、ほかの区も自民党推薦候補者を推していきたい」と述べた。

この党もすっかりやっではないかというところだと思いがちです。政策決定にしっかりと食い込んでいかなければならない。今の政治は空白化しており政治家にお願いしても動いてくれない。政治家は自分の得にならないことには汗一滴も流さない。そういうものなのです。だから我々も政策集団として変わらなければならぬという事です。広島県は口腔保健支援センターが全国で初めて設置されました。その財源確保も全国的な規模で準備を行っていかねばならないと考

変更について
第4号議案 その他の案件
すべて原案通り可決決定した。



第59回 県歯連盟評議員会(8/4)

平成24年度広島県歯科医師連盟 第1回デンタルミーティング

8月4日(土)午後5時30分より標記の会がANAクラウンプラザホテル広島3階「オーキッド」に於いて開催された。開会宣言の後、山科透広島県歯科医師連盟会長より「今日はデンタルミーティングということに日本歯科医師連盟より高木幹正会長をお迎えし、また国会議員の方々、湯崎県知事、林県議会議長等にお越しいただきましてありがとうございます。先程の評議員会で広島県として全面的に次期参議院選挙及び衆議院選挙は自民党を支援することと決定しました。日本歯科医師連盟は連盟で明確なるスタンスを出さない限り考えがまとまらない。意見は色々あるが、旗幟鮮明を明確にし、執行部の決定に向かって一つの方針を示し連盟の活動として動いてもらいたい。本来ここで石井みどり議員は次期参議院選挙に当たっての決意と意思を述べてもらいたいところだ。山科透会長は「今日早くから愛媛県松山の公務の予定が入っており、どうしても抜けられないという事で、今日の一番初めの郡市会長会議で挨拶をいただき皆さんに宜しくお伝えしていただきたい」という言葉だけ預っており、今日は自分の旗幟鮮明を明確にするため意見交換をしつかりと、有意義な会にして頂きたい」と挨拶があった。

頃お世話になっております。ご承知のように少子高齢化がどんどん進んでおります。消費税増税が全面に押し出されておりました。従ってこの状況の中で、よく消費税増税についてどう考えるのかと尋ねられますが、社会保障を明確に示してもらわないと増税のことだけコメントできないという話です。その増税分の中で我々が課題に良くするのは控除対象外消費税、いわゆる損税と言われる問題です。患者さんの方からは消費税は頂いていませんが、我々は仕入先等の業者には消費税を支払っている。大臣などは消費税を増税された分は診療報酬のところで補填していくという形を取っているというので、我々がシミュレーションしてみると、増税になっていくと、診療報酬改定、介護医療報酬改定等々非常に有利に働いたものと思っております。ですから尚更のことと追い風となっているこの時期に我々の政策をしっかりと実現に向けて考えていきたいと思います。

追いかけていきたいと思います。今までは歯科医療が災害医療になっていなくなつたものが、やっと今回の法案の中に歯科の身分保障的なものが出来上がった。これから災害医療を決めていく中で歯科が現場で働きやすい改正が出来始めたと思っております。こういうこともあり、歯科界は厳しいようでもむしろ転換期であると思っております。災害医療を含めて色々な地域医療に歯科が我々の意識改革を含めて変わっていくかなければならない。旧態依然のままの歯科医療でなく、その時代のニーズに即した形に自分たちを変えていかなければいけません。最後に来年度の選

うに要介護にならない自立した生活ができるというところで、このへんについても歯科は健康事業に非常に貢献していると思っております。歯科において8020運動を長い間推進してまいりました。今ではもし無歯顎になってしまったら8020運動達成者と呼ばれ変わらぬ効果があることが研究結果としてわかっています。歯科の場合、研究データをとりやすく分りやすいので、我々もこれからはどんどん出して行ったほうがいいと思っております。

